

■ ■ ■ 日常生活と契約 (2) ■ ■ ■

例) Xさんは、大学入学祝いとしてもらったお金で自動車を買うことにした。販売店Yに代金を支払い、連休前の11月1日に納車してくれるよう頼んだ。ところが、

- 1) Xさんからの注文をYが忘れており、届くのは1か月遅れになりそう
- 2) Xさんの買った中古車をYが運んでくる最中に、Yが事故を起こして壊してしまった
- 3) Xさんの受け取った車はラジエーターが壊れており、走行中に蒸気が噴き出てきた

● 契約が成立すると

買い主 (= _____) : 代金を支払う義務を負う

売り主 (= _____) : 目的物を引き渡す義務を負う

正当な理由なく債務者が _____ を _____ しないことを「債務不履行」という

● 債務不履行の3類型

1) 履行 _____ : 履行が可能であるのに、約束の期日に履行されない場合 (§ 412 ①)

2) 履行 _____ : 履行ができなくなった場合 (§ 412 の 2 ①)

3) _____ 履行 : _____ だったり、数が _____ していた場合

● 債権者にできること

a) _____ の _____ (§ 414) : 裁判所に訴えて _____ を求める

* 暴力・脅迫による取り立てを防ぐため、 _____ は禁止されている

b) _____ の請求 (§ _____ 条)

c) _____ (§ 541)

※ 不完全履行の場合、債務者による履行が可能であれば _____ 請求をして修理や交換を要求でき (§ 412 の 2 ①), それが可能ないし無意味であれば催告なしで _____ できる

● 認められない契約もある

例1) Aはゴノレゴに対してB氏の殺害を依頼し、ゴノレゴは報酬20万ドルで引き受けた。

どんな契約を結ぶかは自由である (= _____ の原則)

原則として, _____ は _____ 間の契約に _____ しない。しかし……

§ 民法 _____ 条 (_____)

* _____ = _____ から _____ ものとみなす

§ 民法 _____ 条

「 _____ 又は _____ による意思表示は、 _____ ことができる」

* _____ が行われるまで、 _____ は _____ として扱われる

● 契約法の原則に対する例外

1人で完全に有効な意思表示を行う能力 (= _____ 能力) を持たない人もいる

例)

これらの《 _____ 行為能力者》については _____ が必要 (§ 民法 20 ①)

§ 民法 _____ 条 (_____ 者の法律行為)

§ 民法 _____ 条 (後見開始の審判)

「 _____ を _____ する _____ を欠く _____ にある者」

※ 事理弁識能力：物事の意味を理解する能力、おおよそ _____ 歳で備わる

Q _____ していたら？

→ 契約を結ぶ能力 (= 意思能力) が欠けているので _____

では、シラフの健常者に対する救済はないの？

→ 民法の特別法として _____ が設けられている (§ 1)

* _____ な _____ 提供によって締結された契約の取消権 (§ 4) など

参考文献) 生田敏康ほか『民法入門』(法律文化社, 2017年) 87頁以下, 122頁以下